

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 7 年 3 月 5 日

番号	1	質問者	足立 義美	タイトル	令和 7 年度施政方針を問う
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1 市農業の振興について			○ ラジコン草刈り機 (1) ラジコン草刈り機の導入にあたり、1,000 万円の委託料で事業が実施される予定ですが、1 台当たりの費用はどの程度を想定されていますか。また、委託料の内訳について教えてください。 (2) ラジコン草刈り機の委託先として、農機具業者を想定されているようですが、委託可能な業者は朝来市内に何業者位ありますか。 (3) ラジコン草刈り機は、5 台の導入が予定されていますが、通常委託業者が使用申込者のところまで配達・回収してくれるのですか。また、貸出期間は最長何日間くらい予定されていますか。 (4) 無償貸し付けとなっていますが、燃料その他の負担は、誰がどのような基準で負担するのですか。 (5) 事業期間が令和 7 年度から令和 9 年度に設定されている理由はどのようなことですか。 (6) 地区の環境整備として、区長から申し出があれば、区の周辺環境の整備にも使用可能ですか。 ○ 有機農業の推進 (7) 有機 JAS 認証取得補助金として 80 万円が予算計上されていますが、この補助金がどの程度効果的であるとお考えですか。また、何件分を想定されていますか。 (8) 国は有機農業に対して「環境保全型農業直接交付金」をはじめとするさまざまな支援策を提供していますが、これらの PR・指導はどのように行われる予定ですか。		市 長

	(9) 市内産のもので現在、有機 JAS 認証を受けた商品は販売されているのでしょうか。把握されていれば、どのようなものがあるか教えてください。 (10) 有機農業産地づくり推進事業の総事業費は 400 万円で、その全額が県の「みどりの食料システム戦略推進交付金」で措置されるようです。県からの本交付金に上限は設けられていますか。 (11) 有機農業の産地づくりには 6 次産業化が不可欠だと考えます。以前の答弁で 6 次産業化を進めたいという話がありましたが、具体的な取り組みがあればお聞かせください。	
2 地域自治協議会支援について	(1) 事務局運営費として 1 事務局あたり 280 万円が新年度には 360 万円に増額されるようですが、これらを事業費等へ流用することは可能ですか。 (2) 地域支援体制スーパーバイズ業務の委託料が計上されています。プロポーザル形式で入札が行われる予定ですが、具体的な委託内容や業務範囲はどのようになりますか。 (3) スーパーバイザー業務は、一過性の指導にとどまらず、地域特性に応じた継続的な支援が重要と考えます。次年度以降も継続的な予算措置を講じることについて、市の方針はいかがですか。	市 長
3 みんなで安心できる子育て環境の充実について	○ 朝来市こども家庭センター (1) 朝来市こども家庭センターは、新年度に児童福祉機能の体制を整備するとされています。妊娠・出産から子育て中の方およびこどもの総合相談窓口を担う体制が整備されることにより、子供に対するワンストップサービスが提供されるようになるのですか。 (2) 兵庫県には「豊岡こども家庭センター」がありますが、朝来市こども家庭センターとの機能の違いと連携についてはどうですか。	市 長

	(3) あさごっこフェスタ(仮称)では、2万個の積み木ブースが設けられるようですが、フェスタ終了後もそのブースは残り、引き続き利用できますか。 ○ こども計画策定 (4) こども計画の策定に当たり、当事者に対して、アンケート調査が実施されるようですが、対象者の選定方法や調査数についてどのように考えておられますか。 (5) こども計画策定支援業務委託料として、令和7年度に280万円、令和8年度に債務負担で300万円余が予定されています。委託内容についてお聞かせください。 (6) こども計画策定後、その成果をどのように評価し、子育て世代や住民にフィードバックする予定ですか。	
4 和田山駅南北自由通路等について	(1) 基本設計では、バリアフリー仕様となり、車いす利用者も通行可能になると考えますがいかがですか。 (2) 駅北にはJR所有の遊休地があります。この遊休地を含めた一体的な整備が検討されているとのことですが、現在のJRとの協議の進捗状況についてまた、今後のスケジュールに向けてどのような取り組みをされますか。 (3) 駅北エリアの土地利用計画を進めるにあたって、基本設計を固める前に駅北地区の住民との意見交換が行われるべきだと考えますが、現状はどのようなになっていますか。 (4) 遊休地の一角には、明治45年築の煉瓦機関庫があります。現在、その鉄骨部分が野ざらしの状態となっています。貴重な鉄道遺産として修復保全が必要だと考えますがいかがですか。	市長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 7 年 3 月 5 日

番号	2	質問者	嵯峨山 博	タイトル	明るい未来に向けて
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1	SNS による誹 謗中傷につい て	(1)	兵庫県では SNS の誹謗中傷により元議員が亡くなられた。県知事は条例制定も視野に入れ、大きな問題と捉えているが、市長はどのように考えられているかお伺いします。		市 長
2	保育料無償化 について	(1)	第一子から保育料無償化を提案したが、事業化にできなかった理由をお聞かせください。		市 長
3	高校生等通学 助成について	(1)	市内中学生の進学先状況をお伺いします。		市 長 教育長
		(2)	通学先によって補助額の割合を変更し補助することも考えられるが、市長の所見を伺う		
4	地域コミュニ ティ強化・地 域の活性化に ついて	(1)	岡山市が取り組まれている「電子町内会」事業は ICT を活用して地域コミュニティの活性化と市民の利便性向上を図る取り組みがされている。本市も地域コミュニティが課題であるが、どのように考えているか。		
		(2)	岡山市では、この他、アプリを利用して例えば消防団員の出動可否、出動時間等が把握しようと考えられていた。消防分団長等の負担軽減につながると考えられていましたが、本市も同じ課題があると考ええる。導入に向け検討してはいかがか。		
		(3)	瀬戸内市の空き家活用の取り組みでは、移住者コンシェルジュ制度を設け、空き家の有効活用や移住者や住民が安心して暮らせる環境を創出している。市政方針では、行政や地域、企業が一体となり温かく受け入れる体制づくりを充実する。とあるが、具体的にどのように考えているかお伺いする		

5 婚活イベントについて	(1) 大規模な婚活イベントも重要であると考えてるが、多くの出会いの場を提供することも重要であると考えてる。例えば、様々なイベントに参加いただくスタッフとして募集するのも、未婚の方を募り、それを出会いの場にしては、と考えるが所見を伺う。 (2) 近隣市町が共同で婚活イベントを実施する考えはないかお伺いします。	市 長
6 藤岡市政について	(1) 5月で任期を終えるが、4年間の評価を伺う。 (2) 2月に2期目の挑戦を表明されたが、どのようなまちづくりを目指すのかお伺いします。	市 長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 7 年 3 月 5 日

番号	3	質問者	日下 茂	タイトル	AI とともに生きる未来
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	管理体制と自覚について	(1) 特定候補者応援で 22 市長を公選法で告発について 2 月 5 日に県警が告発を受理したが見解は (2) 市内の中学生が無免許運転で逮捕について 常習性、複数人に及んでないか 再発防止対策についての見解は			市 長 教育長
2	AI の活用とスマート農業について	(1) 生成 AI の活用が急激に進んでいる遅れをとっていないか (2) 将来 7 機体制になる「みちびき」初め衛星の活用研究する考えはないか (3) 自動運転レベル 4 が始まるが、バスの運用実験をする考えはないか (4) 農業にも AI 技術、デジタル技術が導入されている。 スマート農業の更なる研究と支援が必要でないか (5) VR、XR の調査の現状と取組について			市 長
3	播但線と駅の活性化について	(1) 電化高速化を関係団体、関係者と実現に向け協議すべきと考えるが見解は (2) 高速化を進める中での障害となる事項は (3) 乗降客が増加する為の駅の発想更に、改修が必要でないか (4) 和田山駅の整備はどうあるべきか (5) 不可能を可能にする発想が必要でないか			市 長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 5 日

番号	1	質問者	湊本 稔	タイトル	日仏協会と日本遺産の連携を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	播磨但馬日仏協会と連携した取り組みを	(1) 播磨・但馬日仏協会が 2 月 14 日設立されたが、フランス人技術者シスレーらによって「銀の馬車道」が開通された縁がある。日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」と連携した取り組みによって、沿線地域の活性化をはかる必要があるが、どのように取り組むのか。			市 長 教育長
2	能登半島地震の教訓を活かした準備を	(1) 昨年 1 月 1 日に発生した能登半島地震は、マグニチュード 7.6、最大震度 7 という大規模なもので、住宅が倒壊し道路が寸断された。行政も被災されたため、その後の支援・復旧活動に問題が出てきた。こうした教訓を活かし、しっかりと準備すべきだが、どのように取り組むのか。			市 長
3	農業の再生と国土保全	(1) 昨年起きた、いわゆる「令和の米騒動」は、我が国の農業の脆弱性を露わにした。朝来市における米の生産量・流通量・消費量をはじめとした農業の実態と、市の農業政策、将来像を明らかにされたい。			市 長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 5 日

番号	2	質問者	尾崎 里美	タイトル	安心して暮らせる朝来市へ
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	高齢者介護について	(1) 現在の朝来市の高齢者人口をお聞きします。 (2) 生産年齢が減少するなか、介護保険等にも影響が出てくると思われますが何か対策はされているのでしょうか。 (3) 介護が原因で仕事が十分出来ない方への対策はお考えでしょうか。 (4) シニア人材や外国人就労者の受験資格の年齢制限緩和や国籍条項の撤廃をされている自治体もありますが朝来市のお考えをお聞きします。 (5) 技能検定を終了されている方は有資格者とみなされるのかお聞きします。			市 長
2	在宅医療について	(1) 在宅医療の仕組みについてお聞きします。 (2) 国は行政に在宅医療などの需要分析し、医療関係者などと医療体制を検討すべきと言っていますが朝来市はどのような分析結果に基づき検討されているのでしょうか。			市 長
3	朝来医療センターについて	(1) 医師の確保はできているのでしょうか (2) 昨年 1 年間において救急搬送の件数はどれ程ありましたか。 (3) 救急搬送された患者を八鹿病院や豊岡病院に再搬送された件数についてお聞きします。受入をしてもらえない事が多い事についてどう思われますか。 (4) 十分な機能を果たしていないと思われていますが市長の考えをお聞きします。 (5) 医師の負担軽減を図るために市民に皺寄せがあってはなりませんけど思われますか。			市 長

4 市役所について	(1) 市民が仕事を休まず利用出来る仕組みを検討することについて市長の考えをお聞きします。	市 長
-----------	---	-----

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 6 日

番号	3	質問者	加藤 貴之	タイトル	「チーム朝来市」で次の 20 年も
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	人の和を築く	朝来市誕生の正式決定後の 2005 年 1 月、「合併協議会だより」20 号が発行された。その中で協議会の水谷会長は中国の故事「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」を引いて朝来市の将来像を展望した。この 3 つの観点で朝来市の次の 20 年を考えたい。 (1) 朝来市が誕生して 20 年。未だ旧町意識の高さがあるという声もある。そこで、現在建設中の生野庁舎を含め、3 支所の建物の目立つ場所に朝来市章を取り付けるべきと考えるがいかがか。 (2) 三世代の同居・近居は福祉上好ましい住まい方である。一方、若い世代には近居はしたいが都市的な生活を送りたいという方も多いように感じる。そこで、「あさご暮らし住宅取得等応援事業補助金交付要綱」を改訂し、条文中の近居の定義を「同一の行政区内」から「朝来市内」に変更すべきと考えるがいかがか。			市 長
2	地の利を活かす	(1) 朝来市が交通の要所であるという優位性は過去・現在・未来に渡って変わらないと考える。有利な立地であるにも関わらず、市内商業地には空き店舗が目立つ。そこで、空き店舗バンクを創設し流動性を高めることを提案するがいかがか。 (2) 朝来市の豊富な天然資源、電源設備、安定した地盤、広い土地、冷涼な気候を活かし、AI データセンターの誘致に取り組むべきと考えるがいかがか。 (3) 広域な朝来市で合併が成功するかどうかは、公共交通の充実にかかっていると考える。路線バス生野一山口間の増便に向けた取り組み状況はいかがか。 (4) 幹線の充実と共に、中心市街地における小回りの利			市 長

	く乗り物が求められる。和田山駅・玉置交差点・中央公園・イオン・医療センター・ファーマーズマーケット・和田山高校・枚田小学校・市役所・和田山駅を循環する無人自動運転バスの導入を提案するがいかか。	
3 天の時に乗る	(1) 朝来市の豊かな自然や食文化・歴史文化遺産はグリーンツーリズム、アグリツーリズム・ヘリテージツーリズム等の分野で欧州人に強い魅力を持つと考える。フランス・バルビゾン村との芸術文化交流を一步進め、観光分野での連携協定締結に向けて働きかけるべきと考えるがいかかか。 (2) 空飛ぶクルマの実用化は、標高による条件不利を克服する可能性がある。黒川地区等を対象にバーティポート（垂直飛行場）設置の検討を行うべきと考えるがいかかか。	市長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 6 日

番号	4	質問者	吉田 俊平	タイトル	行政改革と組織改革を！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	防犯について	(1) 市内のインターチェンジ交差点と主要交差点、駅等に市が防犯カメラを設置すべきと考えるがどうか。 また、既存の防犯カメラ設置補助に追加し、防犯カメラ設置を明示する看板等のサイン設置補助も検討すべきではないか。			市 長
2	行政改革について	(1) 市職員と市組織、つまりは行政の意識改革を実施すべきと考えるがどうか。 (2) 苦情窓口を設置すべきと考えるがどうか。 (3) 旅費規程について令和 4 年 5 回議会で私の質問に対して「国家公務員等の旅費に関する法律に準じて対応したい」と答弁されているが令和 7 年 4 月 1 日から施行される「国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律」と同様に令和 7 年度からの朝来市の旅費規程は変更となるか。			市 長
3	財政改革について	(1) 私がこれまでに提案や指摘をして制度や運用等が変わった財政改革について、朝来市に係るものとしては工業用水道事業会計の赤字解消（和田山工業用水の取込み）、一般競争入札の導入、低入札価格調査制度の導入、ふるさと納税の推進、使用料の見直し、カーボンオフセットの導入、斎場指定管理者のプロポーザルの見直し、生野マイクロ水力発電の赤字圧縮、土づくりセンターの処理料見直しによる赤字解消、黒川温泉の赤字解消、農業指導業務委託料の見直しによる財政効果、南但広域行政事務組合に係るものとしては電算事業会計システムの統一化、バイオマス発電事業に係るインセンティブ契約の導入による財政効果、豊岡病院組合に係るものとしては豊岡病院の投資計画の見直し、日高医療センターの入院病床の縮減、和田山医療センターの許可病床の見直しによる債務超過の解消について、それぞれの財政効果額と財政効果総額は幾らになるか。			市 長

4 南但馬王墓群の国指定について	(1) 保存活用計画を今後に策定することになるが、多々良木、和田山、朝来、生野、竹ノ内、粟鹿神社、威徳神社、石部神社の起源や由来について理解しているか。 (2) 私が宮崎県の「ひなた GIS」を利用して市内の新たな古墳を探し昨年末に発見した仮称・和田古墳は兵庫県考古学博物館の鑑定によると「弥生時代後期又は古墳時代前期」とされているが朝来市文化財センターの見解とは異なっている。見解の相違があることは考古学において珍しいことではないと理解しているが、見解の相違があることは試掘をしないことには明らかとならないことから試掘を実施すべきではないか。 (3) 全国には 16 か所の「風土記の丘」が文化庁により設置され、自治体でも同様の設置が見られるが、朝来市と養父市でも保存活用計画及び整備実施計画において風土記の丘の設置を検討すべきではないか。	市長 教育長
5 消防団の負担軽減について	(1) 災害や操法訓練等の出動時の賄いや分団運営費について、増額するよう再検討すべきではないか。 (2) 消防団員協力店制度を導入すべきと考えるがどうか。 (3) 年末警戒について、大晦日は帰省した家族が食事を共にし、家族団欒な時間を過ごせるようにすべきではないか。 (4) 月例の巡回などで音声告知放送や番組放送などケーブルテレビの活用を進めるべきではないか。	市長
6 生野図書室について	(1) 生野図書室、和田山図書館、朝来図書館の蔵書数及び貸出冊数並びに利用人数と、生野図書室が生野庁舎に新たに設置され図書コーナーとなった場合の蔵書数及び面積は幾らか。	市長 教育長
7 朝来支所について	(1) 来年度以降に改築が予定されている朝来市支所に、業務の効率化を図るため、地籍調査課と上下水道課を移転させる検討をすべきではないか。	市長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 6 日

番号	5	質問者	水田 文夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	日本農業遺産 の認定を生かせ	(1) 岩津ねぎを核とした「循環型」農業振興が認められ、日本農業遺産に認定されたこと、大変おめでとうございます。市長は、今回の認定をどのようにとらえられていますか。 (2) 岩津ねぎは、昭和 62 年(1987)には、4 ヘクタール(約 10 トン)まで、生産量が落ちていました。合併を機に、市内全域での栽培や、ブランド化が進められてきました。現在の岩津ねぎの作付面積は、何ヘクタールで、今後どのように広げようとお考えですか。 (3) 植え付けから出荷までの間に、白根を長くするための土寄せがあります。規模の拡大には、機械化が必要と考えますが現在どの程度の機械化が進んでいますか。 (4) 産業建設常任委員会で、出荷時期に生産者を訪問しました。贈答品として、1 本 1 本丁寧に掃除し、袋詰めにされていました。どうしても、人手が必要なようです。大量に出荷するには、共同出荷場のような施設が必要になると感じています。そうすることで、一定の品質の管理もできると思いますが、市長のお考えは。 (5) 白根の部分が 25 センチ以上は、「贈答品岩津ねぎの規格」として定められているのでしょうか。 (6) 25 センチ以下を「白ねぎ」として少し価格を下げて販売されていますが、岩津ねぎとして販売することは、できないのでしょうか。 (7) 「こうのとりの米」等併せて、市内全域で循環型農業、有機農業を取り組み、「朝来野菜」としてブランド化を進めては、どうですか。			市 長

	(8) 市場への販売ルートは、道の駅、ふるさと納税返礼品や農協のほかに新たなルート開発はされていますか。 (9) 庁舎前に「農業遺産認定・岩津ねぎ核に資源環境型システム」と大きな横断幕が掲げられています。道の駅などには、掲げられていません。7年度予算で、市民への周知も含めて進められる予算が組まれています。取り組みが遅いと思われませんか。 (10) 「全国ねぎサミット」が朝来で開催されます。どのような取り組みで、全国の生産者をお迎えになる予定ですか。	
2 「道の駅あさご」について	(1) 石破総理が提唱する「地域創生 2.0」の中で国土交通省は、「道の駅をリニューアルを支援する。」としています。地域と連携しながら、まちぐるみで地方創生や観光、防災の拠点化などを目指す道の駅が対象としています。一方で、道の駅は、1993年の登録制度のスタートから30年が過ぎ更新の需要が高まっていると、している。「道の駅あさご」は、1993年1回目の登録です。これまで、リニューアルは、されていません。この機会を利用すべきではないでしょうか。 (2) 特に、「道の駅あさご」は、「あさご芸術の森」の入り口であり、森への誘導的な施設であるべきと考えますが、現在の道の駅は、老朽化が激しく、インパクトが希薄のように感じています。市長は、どのように思われていますか。 (3) 私は、道の駅を核として、芸術の森を「ONE day リゾート」のメッカにすることを提案します。道の駅周辺を公園として再整備し、様々な機能を持たせるが必要だと思います。そのために兵庫県立芸術文化観光専門職大学と事業連携し、若者が集う場所となるよう整えるべきと考えます。芸術と観光(art & tourism)を学ぶ場所になってもいいと思います。市長は、どう思われますか。	市長

3 20 年を振り返り	(1) 合併後 20 年が経ち、各駅前を見ても時代の移り変わりとはいえ店舗が減少し元気がない状況になっていると思われます。朝来地域においても、同様に思いますが、活性化に向けた計画等がありますか。 (2) 市長は、市民同士のつながりなど、朝来市は一つになったと思われますか	市 長
--------------------	---	------------

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 6 日

番号	6	質問者	松井 道信	タイトル	子どもの貧困問題について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1 子どもの貧困問題について		(1) 朝来市におけるこどもの貧困の実態について。その実態を把握しているか。日本における経済的な貧困は相対的貧困。本市の貧困率はどうか。又、近年どのように推移しているのか。 (2) 子どもが貧困に陥る原因として、どのような事が挙げられるか。仕事と育児の両立は難しいことから、ひとり親家庭は経済的貧困に陥りやすいとされているが、本市ではどうか。 (3) 貧困が子どもの学習や健康に与える影響について。貧困は学習の機会が制限されることに繋がるだけでなく、健康を阻害する原因にもなっている。学力低下は進学や就職にも大きな影響を及ぼすが、こうした事の調査や対策はしているか。 (4) 子どもの貧困の連鎖について。貧困は世代を超えて繰り返すことが多いとされている。そのことを防ぐための対策を検討されているか。既に実行されていることがあれば、具体的に提示を。 (5) 貧困問題に対応するには、その問題の特殊性から一律ではなく、専門的なスキルや知識が求められる場合も多く、専門家の採用が望まれる。本市の対応はどうなっているか。 (6) 貧困と医療は密接な関係にあり、互いに悪影響を及ぼし合う可能性がある。たとえこどもの医療費が無償となっても、経済的な理由で十分な栄養を摂取させることが出来ない。また、親が定期的な健康診断や予防接種を受けられず、早期発見・早期治療の機会を逃し病気が重症化し、結果的に医療費が高額になる可能性もあるが、こうした問題をどのように考えているか。			市 長 教育長

	(7) 経済的な理由から、地域活動や交流事業に参加出来ずにいる子どももいる。貧困によって孤立は、社会性を育む機会の損失だけでなく、精神的な健康を育むことにも悪い影響を与えかねない。また、インターネット環境が無くて情報機器が家庭で使えず、様々な情報から孤立を招く可能性があるが、こうした事の実態把握や是正措置はとっているか。 (8) 貧困問題は、経済的な支援だけでなく、教育支援、医療支援など様々な支援が必要であるが、貧困な家庭ほど基礎自治体などが提供するサービス制度や機関そのものを知らないという実態があるだけでなく、制度の利用の仕方が判らない、使いづらいとする傾向もあると言われているが、本市の場合はどうか。 (9) 保育におけるソーシャルワーク機能の強化。子どもの貧困対策として乳幼児の支援こそが重要であるとする OECD（経済協力開発機構）の研究報告もあるが、本市の場合そうした事に関する情報は十分に得ているのか。こうしたデータの把握はしているか。 (10) 貧困に苦しむ子どもは、大人に自分の声を伝えるににくい状況にある場合が多いのではないだろうか。様々な機会や場所で子どもの貧困に関する意見を聴く機会を設けているか。 (11) 子どもの幸せ、子どもの「精神的幸福度」をどのように捉えているか。教育評論家の尾木直樹氏は、日本の子どもの「精神的幸福度」の低さを指摘している。その背景には学業の問題、いじめの問題、家庭環境の変化や SNS の影響など、様々な課題が指摘されているが、こうした事に対してどのように考えているか。	
--	---	--

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 6 日

番号	7	質問者	横尾 正信	タイトル	デマンド交通について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	デマンド交通 について	(1) 生野エリアでの運行がほぼ 1 年経過した。 総括と今後の展望はどうか (2) 和田山・山東エリアでの試行が 4 月から始まる。 準備は大丈夫か。 (3) デマンド交通の今後の諸問題、展望・計画はどうか			市 長
2	その他公共交 通インフラに ついて	(1) ①JR 播但線全線電化、②国道 9 号線バイパス ③ 遠坂トンネル無料化の進展状況はどうか			市 長
3	施政方針で示 す「縮充」につ いて	(1) 市長が令和 7 年度施政方針で述べている「縮充」につ いて説明を求める。			市 長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 7 日

番号	8	質問者	藤原 正伸	タイトル	施政方針と予算編成について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	財政運営の健全性と持続可能性について	(1) 令和 7 年度の市債発行額は 27.1 億円と、前年より大幅に増加しています。この増額に伴い、市債の返済計画はどのように策定されているのか、具体的な方針や見通しについて伺います。 (2) 令和 7 年度予算では、財政調整基金から 5.3 億円が繰り入れられています。この繰り入れによる基金の持続性について、どのように考えているのか、また今後の取り崩しの方針について伺います。			市 長
2	歳入の増加策について	(1) 令和 7 年度の市税は 41.1 億円と、前年比 4.4%の増加が見込まれています。しかし、今後、人口減少や企業活動の低迷が続いた場合、税収の長期的な見通しについて、どのように考えているのか伺います。 (2) 企業誘致やふるさと納税の拡充など、新たな財源を確保するための具体的な戦略について、市としてどのように考えているのか伺います。 (3) 観光振興において、竹田城跡を中心としたプロモーションが進められていますが、これによりどの程度の観光客の増加を見込んでいるのか、また、それに伴う経済効果をどのように試算しているのか伺います。			市 長
3	歳出の効率性について	(1) 教育・子育て支援に重点的な投資を行うことにより、出生率の向上や若年世代の定住促進にどのような効果が期待されるのか、市としてのシミュレーションや見通しについて伺います。 (2) 市営住宅の整備や庁舎の改修事業が進められていますが、今後の公共施設の維持管理にかかるコストについて、どのように見通しを立てているのか伺います。			市 長

4 施政方針に基づく事業推進の実効性について	(1) 施政方針では、「住みたい田舎ランキング」での上位ランクインが強調されていますが、これを具体的な移住促進策とどのように結びつけ、どのような施策を展開していくのか、伺います。 (2) 産業団地の整備により、どの程度の企業誘致が見込まれているのか、また、それによる雇用創出の効果について、市としてどのように試算しているのかお聞きします。さらに、市内の既存事業者とのバランスについては、どのように考えているのか併せて伺います。	市長
5 その他の重要課題について	(1) 介護タクシー補助や訪問入浴サービスの強化など、高齢者支援策が拡充されていますが、高齢化が進む中で、これらの施策を今後も継続するための財源を確保できるのか、市としてどのように見通しを立て、どのように対応していくのか、お聞きします。 (2) 公共施設の老朽化が進む中で、維持管理コストを抑えるための具体的な対策や計画をどのように検討しているのか、お聞きします。また、財政負担の軽減に向けて、民間との連携（PFI の活用や指定管理者制度の導入など）について、検討していることがあるか、併せて伺います。	市長

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 7 日

番号	9	質問者	藤本 邦彦	タイトル	地域自治の充実が未来を創る
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	地域自治協議会の現状と課題は	(1) 少子高齢化が進む中、地域コミュニティの重要性がさらに高まっている。行政区と共に、地域自治協議会の存在意義がますます重要なものとなっていると考える。 市長は市内の地域自治協議会の存在意義についてどのようにお考えか。期待される役割とはどのようなものか。お考えを伺う。 (2) 市内の地域自治協議会の課題についてはどのように分析されているか。その解決に向けてどのような支援を考えておられるか。 (3) 自治協は市民にとって身近な存在か。市内の地域自治協議会に対する市民の意識調査について伺う。調査結果をどのように分析されているか。 (4) 地域自治協議会の活動について、地域課題への取り組みを充実させることが重要と考えるがどのようにお考えか。現状をどのように分析されているか。 (5) 地域自治協議会の充実、発展には、より多くの多様な市民、特に若い世代や女性の積極的な参画が必要である。このような地域自治協議会の力が朝来市の未来を創ると考える。 市長は 10 年後の地域自治協議会の姿をどのように描いておられるか。そこへ向けてどのような支援が必要だと考えておられるか。			市 長
2	市民活動への支援について	(1) 地域自治協議会に属さない市民活動について伺う。主にどのような活動があり、補助メニューとしてよく利用されているものにはどのようなものがあるか。			市 長

	(2) 多様な市民による市民活動の活性化も大変重要であると考え。現状をどのように分析し、今後の支援をどのように考えておられるか。 (3) 多くの自治体の庁舎内には市民活動交流スペースが設けられている。市民の方が自由に利用し、語り合い、学び、交流できる、そんなオープンスペースを朝来市役所の本庁舎内にも設置できないか。	
--	--	--

第 23 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 7 年 3 月 7 日

番号	10	質問者	上田 幸広	タイトル	暮らしやすいまちを目指して
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	ジェンダー平等と少子化対策について	(1) ジェンダー平等の取組には市長の強いリーダーシップが必要と考えるが如何か。 (2) 少子化対策においてもジェンダー平等の取組は重要と考えるが如何か。 (3) 若い女性の都市への流出を止める為に豊岡市は「ジェンダーギャップ解消戦略」を策定し推進している。朝来市においても研究し取組むべきと考えるが如何か。			市 長
2	野外焼却（野焼き）の禁止について	(1) 市内での野焼きの現状と当局の対応について伺う。 (2) 廃棄物処理法では、野焼きは原則として禁止されているが、例外的に認められているケースもある。最終判断は、どの様に行われるのか伺う。 (3) 野焼きへの近隣住民からの通報が、あった場合の警察との協議などはあるのか。 (4) 野焼き禁止の市民への理解と周知を徹底すべきと考えるが。 (5) 野焼きではなく、雑木の剪定枝や竹林の伐採で生じる竹などを資源として無煙炭化機を使用し燃焼させバイオ炭を生成する取組を推進している自治体もあるが、市長の認識を伺う。 (6) 近隣市町においては、丹波篠山市で竹林伐採を利用して無煙炭化機でバイオ竹炭を作り農地利用されている。朝来市でも取組むべきと考えるが如何か。			市 長

3 防犯意識の向上について	(1) 昨今、朝来市内においても、強盗事件や学生生徒に対する声かけや無断撮影事案など発生している。市の対応を伺う。 (2) 市内こども園・小中学校の防犯カメラの更新・新設の状況を伺う。 (3) 防犯カメラ設置費補助事業の現状について伺う。 (4) 市民に対して家庭用防犯カメラの設置費用の補助を行うべきと考えるが如何か。	市 長 教育長
4 障害のある方への支援について	(1) 朝来市内の網膜色素変性症の方の人数について伺う。 (2) 網膜色素変性症の方について現在の支援体制について伺う。 (3) 暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業のメニューに加えるべきと考えるが如何か。 (4) 朝来市内で現在、自宅で人工呼吸器やたん吸引器などを使用されている方の人数について伺う。 (5) 災害時において長期停電が起きた場合、市はどのような支援を行うことができるのか伺う。 (6) 日常生活用具給付事業にバッテリーなどの非常用電源もメニューに加えるべきと考えるが如何か。	市 長